

秋田県美郷町現地調査報告

(公財) 日本都市センター 研究室

1. 調査概要

公共施設やインフラの老朽化対策や管理適正化を目的とした公共施設・インフラマネジメントにおける取組み状況や課題についてヒアリング調査を実施。以下の報告は、ヒアリング調査及びその後の補足的な聴き取りによる。

- 実施日：[第1回] 平成25年9月18日(水) 14時00分～16時00分
[第2回] 平成25年11月5日(火) 16時00分～17時15分
- 調査地：秋田県美郷町役場（秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10）
- 調査者：[第1回] 首都大学東京 山本委員、(公財) 日本都市センター研究室 石田研究員、佐野研究員
[第2回] 首都大学東京 山本委員、(公財) 日本都市センター研究室 鳴田室長、石田研究員、佐野研究員
- 相手方：[第1回] 秋田県美郷町（総務課 総務班・秘書広報班 班長 小田長光仁氏）
[第2回] 秋田県美郷町（町長 松田知己 氏）

2. 調査先概要¹

- 立地：秋田県南部（東京から約430km、秋田市から約50kmに位置する）
- 人口²：6,733世帯、21,366人（減少傾向）
- 65歳以上人口構成比³：32.3%（以前はほぼ横ばいであったが、平成23年末から増加に転じた）
- 面積：約167.8km²（東西約14km、南北約20km）
- 合併：平成16年11月1日で2町1村（旧千畑町・六郷町・仙南村）による新設合併
- 一般会計⁴：歳入 約123億35百万円、歳出118億51百万円
- 普通建築事業費⁴：2,202,237千円
- 災害復旧費⁴：64,934千円
- 維持補修費⁴：93,150千円（除排雪費を除く）
- 公共施設再編事業⁴：9,967万円
- 実質公債費比率⁴：11.7%（対23年度比で1.1ポイント減少）
- 将来負担比率⁴：37.4%（対23年度比で8.7ポイント減少）
- 行政財産⁵：土地1,279,414m²、建物138,900m²

3. マネジメント対象について

- ・ 「美郷町公共施設再編計画（以下、再編計画）」では、公共建設物（庁舎、公民館等）及び公園（小規模含む）など、学校施設と温泉施設を除いたすべての公共施設（147施設）を対象としている。
- ・ 学校施設と温泉施設については、性質が異なることから再編計画の対象から外し、別途検討することとした。学校施設については、教育委員会が主体となって再編が実施された。ただし、廃止した学校は検討対

¹ 秋田県美郷町ホームページ及び関連する公開資料 参照

² 平成25年9月末現在

³ 平成25年9月末

⁴ 平成24年度

⁵ 平成25年3月31日現在（24年度末現在高見込）

象としている。

- ・ 道路や橋りょう、上下水道は対象としていない。橋りょうの長寿命化計画を策定し、必要に応じた整備を行うことにしている。

4. 公共施設マネジメント導入以前の取組みと課題について

- ・ 合併前の旧2町1村は規模や所有施設の構成が似ていたため、合併後同様の公共施設を3施設ずつ所有することになった。
- ・ 各施設の所管部署では、一般的な維持管理や従来どおりの必要に応じた予算請求などを行っていた。他部署との連携や情報共有はほとんど図られていなかった。施設の活用状況についても、余剰スペースはなく充実しているとされていた。
- ・ 旧町村時代から、児童数減少のため学校施設の再編は必要とされていた。
- ・ 企画財政課では、補修費用や更新費用が将来的に負担になることは認識していた。

5. 公共施設マネジメント導入の目的・経緯について

- ・ 平成16年11月の合併により、旧町村が所有していた公共施設が重複したため、効率的な運営のために統廃合を含めた今後の方針を決める必要があった。
- ・ 三位一体の改革により地方交付税の規模が縮小され、将来的には財政規模に合った施設しか維持できないという認識があった。
- ・ 町の将来的な財政への懸念や重複する施設についての問題意識から、町長が最初に公共施設再編の必要性を訴えた。
- ・ **合併当初は分庁方式で業務を行ったが、行政運営において非常に効率的ではないと実感し、再編が必要だと認識した。**
- ・ 合併協議の中では住民感情を優先し、施設再編についての議論は合併後に持ち越した。合併直後は町内の融和を優先し、融和が図れてきた平成19年度（合併より約2年半経過）より再編計画の取組みを開始した。
- ・ 平成19年5月「公共施設のあり方庁内検討会（以下、あり方検討会）」を設置し、施設の評価を行い、問題点や課題を抽出、今後のあり方を施設区分ごとにまとめ、平成20年3月『美郷町における公共施設のあり方』検討報告書（あり方報告書）」を公表した。
- ・ あり方検討会は副町長の下に設置し、当時庁舎管理の担当部署だった総合サービス課長があり方検討会会長を務め、四役（町長、副町長、収入役、教育長）と、総務課等8課の課長・班長等が検討委員として参加した。
- ・ 平成20年5月、副町長と総務課等7課の課長と総務課総務班長で構成する「公共施設再編庁内検討委員会（以下、再編検討委員会）」を設置し、平成21年6月「美郷町公共施設再編計画」を策定した。
- ・ あり方報告書や再編計画の策定の際、短期間に集中して各検討会を開催した（あり方検討会では1年間に14回、再編検討委員会では9カ月間で7回）。
- ・ 公共施設の再編に合わせて学校施設の再編についても検討し、平成21年6月「美郷町学校再編計画」を策定した。
- ・ **公共施設の再編計画と学校の再編計画を同時に策定することにより地域のバランス感を一緒に提示できた。**
- ・ **平成22年1月、年末年始休業を利用し役場の統合を行った。同年4月に保健センターや公民館の統合を行うなど段階的な再編を実施した。**
- ・ あり方検討会で統合する施設種別を決め、再編計画で残す施設のあり方と廃止する施設の活用方法について取りまとめるなど、段階的に計画を進めた。
- ・ 取組み開始から実施まで短期間で進められたことは、推進に大きく寄与した。

- ・再編計画については3回の見直しを行っているが、概ね計画通りに進んでいる。
- ・重複する施設を各種1施設に削減することを再編計画の基本的な考えとして、対象147施設を120施設程度まで削減することとしている。
- ・学校再編計画では、従来の7小学校3中学校を再編し、旧町村単位の地区（千畑・六郷・仙南地区）に小学校を1校ずつ、町内に中学校を1校とすることにした。
- ・**学校施設については、平成22年度に六郷地区の小学校統合、平成24年度に町内の中学校統合、平成25年度に残り仙南・千畑地区の各小学校統合を行うなど公共施設再編と同じように段階を追って実施した。**
- ・**中学校の統合を検討した目的として、少子化への対応だけでなく、1つの統合中学校にすることで地域住民の一体感を高めたいという考えがあった。これは、松田町長が旧仙南村長時代、昭和の合併による統合中学校のおかげで住民感情のまとまりの良さや郷土愛の高さを実感した経験に基づく考えである。**
- ・学校施設の再編の参考とするため、廃校施設の活用事例として、横手市の農山村体験学習交流施設「釣りキチ三平の里 体験学習館」や「浅舞スポーツセンター」、酒田市の「上田コミュニティ防災センター」へ、議会議員、町職員及び学校再編による空き施設等活用住民検討会が視察した。
- ・**旧町村は合併以前から人のつながりの濃い地域であり、共通認識を持ち合意形成をしやすい土壌があった。**

6. 公共施設マネジメントの具体的手法と独自性について

- ・施設の評価は、規模・老朽化・整備水準・附帯設備など6項目（特定施設に対しては3項目付加）について重みを付けずに10点満点で評価を行い、施設種別ごとに点数で優先順位をつけた。
- ・**旧町村の地域性や施設配置バランスを考慮した再編計画にしており、千畑地区には役場などの行政機能を、医療機関や商業施設が集まる六郷地区には教育・福祉保健機能を、仙南地区には集会コミュニティ機能と文化施設の拠点を配置した。**
- ・公民館のような集会コミュニティ機能を有する施設は地域ごとにしなければならないと考え、機能を代替した小規模施設（ふれあい館）を旧3地区に配置し、集約した公民館に3施設を統括させるなど、施設の性質に合わせた再編を行った。
- ・住民利用の多い保健センターについては、廃止した地区の高齢者等向けに巡回検診を行うことなどで機能を補完している。庁舎についても分庁舎を廃止したが、各地区にある公共施設の中に出張所の機能を充実させることで補っている。
- ・解体する予定だった施設（交流センター）に対して民間団体（JA）より入居の要望があったため、土地は有償貸付とした建物の無償譲渡を行った事例もある。
- ・旧六郷庁舎や旧仙南庁舎は、商工会やシルバー人材センター等公的団体を指定管理者として入居させ、一部利用している行政書庫と建物の維持管理を委託している。
- ・買い物や通院の足として、公共施設間の低額デマンド型交通（予約制タクシー、300円/区間）や町役場と各地区の出張所間のシャトル便（午前午後各2便）を導入し、商業施設や保健センターの立地地区を結ぶことで高齢者等交通弱者への対応を行っている。**今年度から町内の医療機関への低額デマンド型交通を開始した。**
- ・老朽化や耐震性が無い施設は解体し、解体後の土地は当面駐車場として利用する。
- ・用途変更により施設の一部が余剰となった場合は、無駄な維持管理費を抑えるため、減築（一部解体）し駐車場等に変更する。
- ・**過剰な公共施設は廃止する方針である。**
- ・**千畑中学校校舎を集会施設に転用した結果、新たな用途で集まる利用者から駐車場が不足しているという要望を受けることになったので、駐車場設置のため減築した。なお、駐車場への用途変更ならば減築・解体について地方債の起債ができるので、地方債を利用している。**
- ・廃校となった学校施設については、再編計画と合わせて用途検討を行った。町で活用しない施設については、利用団体の公募（募集期間3年）を行い、3年応募が無い施設は解体することとしている。

- ・ 統合のため遠距離通学になる地域には民間委託のスクールバスを朝晩運行させている。
- ・ 売却した施設は無い。
- ・ 施設の長寿命化対策について取り組む予定は無い。一部の学校施設や公民館等について耐震診断を実施し、必要に応じた耐震補強をしている。未実施の施設については今後実施を予定している。
- ・ **再編計画では一定の経費をかけて既存施設を使いきることにしている。**
- ・ 指定管理者については、温泉施設や道の駅等の第3セクター委託等で導入している。

7. 統括的な組織体制について

- ・ 平成17年度に10年間の総合計画を策定し、5年毎に前後期基本計画を策定している。平成22年度からの後期基本計画では行財政運営の後期主要施策の1つとして「公共施設の再編整備」と明記されている。さらに毎年度の実施計画に合わせて再編計画の見直しを行う。
- ・ 総務班には4名在籍しており、従来は、職員の給与や人事、議会や各種選挙の管理を行っていた。
- ・ 再編計画の検討にあたり、対象施設が複数の部署にまたがることから、総務班が中心となり関連する6部署と連携を図ることになった。また、再編検討委員会の運営や再編計画の取りまとめを総務班が中心となって行った。
- ・ あり方検討会では、会長と各課の班長以下の職員でデータ収集や評価等を行い、作成した報告書の素案について四役が検討を行った。
- ・ 小さい組織なので協力体制は整っており、施設が多すぎるという認識が職員にあったため、庁内で目立った反発は無かった。

8. ICTシステムについて

- ・ 従来どおりエクセル等を活用した一般的なデータ管理を行っている。将来的には公会計などにも対応したシステムを導入したい。

9. 人材・専門性の確保や個に依存しない組織づくりについて

- ・ 再編計画の当初から平成24年度まで総務班班長（当時）が1人で担当していた。小田長班長は今年度から引き継がれて担当している。引継ぎ時、再編計画が既に策定しており、今後は計画に沿った実施に向けた進捗管理業務に専念できるように業務が整理されていたため、円滑に引き継げた。
- ・ 統括部署には進捗管理等の管理能力が必要になる。技術的な部分については所管部署に任せている。しかし、公有財産管理台帳等を整備した後、道路や橋りょう等インフラを含めた計画を検討するときには、統括部署にも技術的知識や評価結果を判断する能力が必要になるだろう。
- ・ 建設課には道路や住宅等を管理する建設管理班に6名、上下水道班に3名の技術的な業務を担う職員がいる。
- ・ 職員の専門職採用は行っておらず、すべて事務職採用である。建築・土木系高校卒業程度の職員はいるが、高度な専門知識を学んできた職員はいない。
- ・ 技術的な業務に関わる職員は建築土木、農業土木、管財など関連部署内の異動が多いため、経験を積むことで技術を身に付けたり、引き継ぎを通じて仕事のやり方を学んでいる現状である。
- ・ 技術系職員の不足が深刻であるが、採用・育成に関する具体的な方針等はまだ無い。再雇用者を活用したいが、雇用前と立場が逆転する場合もあるので難しい。
- ・ **技術系職員を採用する意向はあるが、異動などの人事上の問題を考えると、1名だけ採用するのではなく複数名まとめて採用しなければならないため、現時点では難しい。**
- ・ 上下水道では特別会計であるため、今後会計に関する専門知識を持った職員が必要になるのではないかと。
- ・ 合併後、職員数の適正化を実施し平成28年4月付で職員数230名まで削減することにしており、既に現時点で同水準まで削減できている。今年度末も新規採用者数を上回る退職者数となるが、今後の再雇用者

数を考慮すると、新規採用者数を増加させるのは難しい。

10. 住民の合意形成や議員との連携について

- ・ 再編計画策定の際、施設利用団体を集めた「公共施設再編に係る施設利用団体等意見交換会」（平成21年3月開催）による意見交換や、パブリックコメントを行った。
- ・ パブリックコメントの際には、町役場と議会で一方的に決定したのではなく、住民の意見を受け止め改善していく姿勢が大切であると考えた。
- ・ 再編計画の策定後、再編計画に関するパンフレットを全戸配布し周知を徹底した。
- ・ 住民に対して小中学校再編について説明会等を行ったが賛否両論だった。しかし最終的には納得していただいた。
- ・ 広報誌への掲載やパンフレットの全戸配布等による情報提供を行い、公共施設や学校施設再編計画についての理解が得られるよう努めた。施設再編の目的や経緯、検討内容、町の将来像など極力多くの情報を提供して深い理解を求めた。
- ・ 町会議員に対して、取組み当初から議員全員協議会の度に再編計画の経過報告を行い、取組みに対する理解を得るようにした。
- ・ 乗り合いタクシー導入に当たっては、一部の民間交通事業者から反発もあったが、議論して事業内容に修正を加えながら、理解を求めた。

11. 財源確保・財政負担軽減について

- ・ 毎年度のプライマリーバランス（基礎的財政収支）が赤字にならないよう心掛け、地方債・合併特例債を起債している。
- ・ 起債ができないときに施設再編等を計画的に行えるよう、公共施設設備基金（平成22年9月より積み立て開始）により財源を確保している。公共施設整備基金の残高は847,000千円（平成24年度決算）である。
- ・ 施設の新設が必要な際には過疎債（元利償還金の70%が国の交付税で還元）を活用する予定である。
- ・ 財政指標は改善されているが、交付税の合併特例が平成26年度をもって終了となることから、今後も財政健全化に向けた取組みを強化していく必要がある。

12. 今後の社会情勢について

- ・ 総務省方式改訂モデルに対応した公会計4表の作成は終えているが、決算統計の建設事業費の積み上げを基に作成されたため、実情に合っているか定かではないという不安がある。固定資産管理台帳の作成を検討したが、総務省の公会計の見直しを受けて一時中断している。今後、固定資産管理台帳の整備は必要であるという認識は変わらない。
- ・ 高齢化の進行による交通弱者の増加は今後の課題であるが、財政負担を考慮した公共施設の再編とは別に考えている。
- ・ 都市計画と関連させた公共施設の再編計画は行っておらず、総量縮減と現有施設の有効活用の観点から再編を行っている。
- ・ 現在の再編計画では、既存施設の有効活用を前提としているため、旧町村地区へのバランスのとれた施設配置になっているが、現有施設の建替えの際には1地区に集約することも検討しなければならないだろう。

※太字斜体の箇所は第2回調査により得た内容である。

公共施設マネジメントに関する取組み経過(まとめ)

- 平成 16 年度
 - ・ 11 月 2 町 1 村 (旧千畑町・六郷町・仙南村) による新設合併 (11 月 1 日)
- 平成 19 年度
 - ・ 5 月 「公共施設のあり方庁内検討会 (以下、あり方検討会)」 を設置
 - ・ 平成 20 年 3 月 「『美郷町における公共施設のあり方』 検討報告書 (あり方報告書)」 を公表
- 平成 20 年度
 - ・ 5 月 「公共施設再編庁内検討委員会」 を設置
- 平成 21 年度
 - ・ 6 月 「美郷町公共施設再編計画」 を策定
 - ・ 6 月 「美郷町学校再編計画」 を策定
 - ・ 平成 22 年 1 月 町役場の統合を実施
- 平成 22 年度
 - ・ 4 月 保健センターや公民館の統合を実施
 - ・ 六郷地区の小学校統合を実施
- 平成 24 年度
 - ・ 町内の中学校統合を実施
- 平成 25 年度
 - ・ 仙南・千畑地区の各小学校統合を実施

【参考】

- 『美郷町における公共施設のあり方』 検討報告書(抄) (H20.3)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/2284/kenntouhoukokusho.pdf>
- 美郷町公共施設再編計画 (H21.6)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/1699/kokyoshisetsu.pdf>
- 美郷町公共施設再編計画についての見直し (H23.6)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/1699/koukyoushisetsuminaoshiH236.pdf>
- 美郷町公共施設再編計画についての見直し (H24.3)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/1699/koukyoushisetsuminaoshiH243.pdf>
- 美郷町公共施設再編計画についての見直し (H24.8)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/1699/koukyoushisetsuminaoshiH248.pdf>
- 美郷町学校教育将来構想 (H21.3)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/2477/shouraikousou.pdf>
- 美郷町学校再編計画 (H21.6)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/2542/gakko.pdf>
- 学校再編による空き施設等活用計画 (H23.5)
<http://www.town.misato.akita.jp/download/1699/akishisetukatsuyoukeikaku.pdf>

(文責：事務局)